

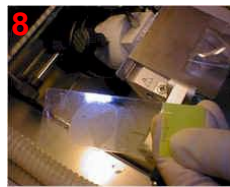
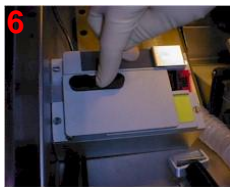
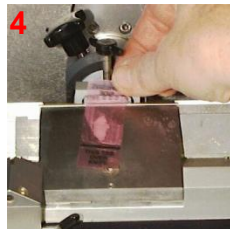
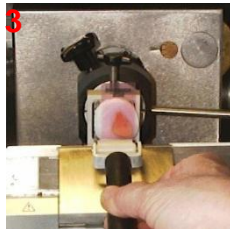
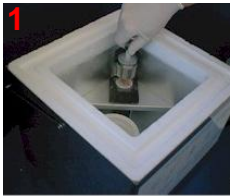
クライオジェンテープトランスファーシステム

変形・損傷・脱落のない凍結切片の作成に不可欠



従来の凍結切片作製では筆やアンチロール器具を使って、ナイフ上に切片をのせますが、このステップは熟練者でも簡単ではありません。この装置を使うことにより、薄切からスライドへの固定まで、凍結切片の変形・融解なしに簡単に行なう事ができます。これらの操作は一貫して、クライオスタット装置内で行なわれますので、凍結切片作成時におこる融解および風乾とそれによるアーチファクトを回避します。粘着テープで切片を支持・固定しますので、フラットで皺のないように薄切する事ができます。

紹介CDをご希望の際には、ご連絡下さい。



—取扱手順—

- 1: スナッフフリージング
- 2: クライオスタット内で凍結切片にテープを付着
- 3: ローラーでテープを強固に固定
- 4: 薄切
- 5: 切片を粘着剤コーティングスライドガラスにローラーで付着
- 6: UVランプで切片を粘着剤コーティングスライドガラスに重合固定
- 7: ゆっくりとテープを除去
- 8: スライドへのトランスファーが完了

特徴

- 短時間で薄い凍結切片を作成できます。(2 μ m~)
- 薄切時に皺ができません。
- 凍結切片を簡単にしっかり固定できます。
- 凍結切片の変形・融解がなく、サンプルの損傷がありません。

アプリケーション

- 良好な凍結切片のスライド作成。
- レーザーキャプチャーマイクロダイゼクション。(Laser Capture Microdissection)

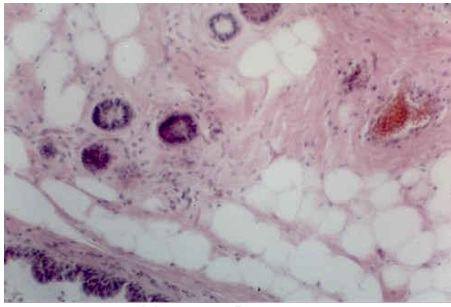
構成

- フラッシュパッド装置
- コントロール装置
- コーティングスライドガラス
- テープウインドウ
- ナイフ用ワイパー
- ハンドローラー
- ドアチャンネル

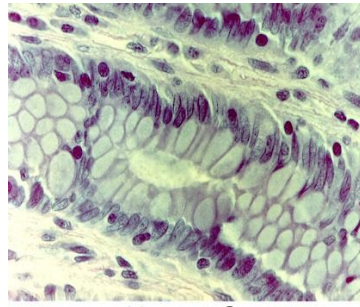
TI 株式会社 東京インストルメンツ

東京本社 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-18-14
Tel: 03-3686-4711(代) Fax: 03-3686-0831
email: sales@tokyoinst.co.jp
大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル
Tel: 06-6393-7411(代) Fax: 06-6393-7055
email: osaka@tokyoinst.co.jp
Webpage <http://www.tokyoinst.co.jp>

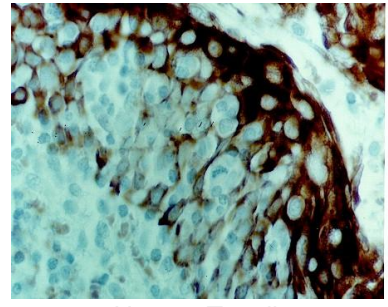
サンプルギャラリー



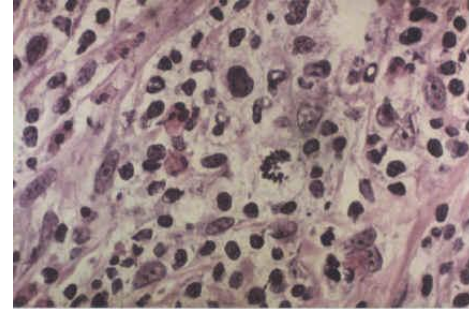
Human Breast
H&E



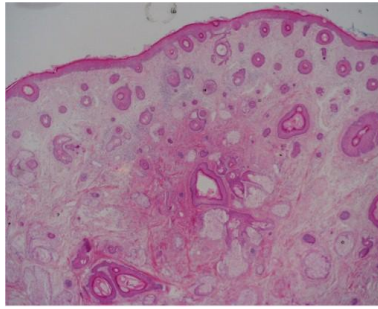
Human Gut
H&E



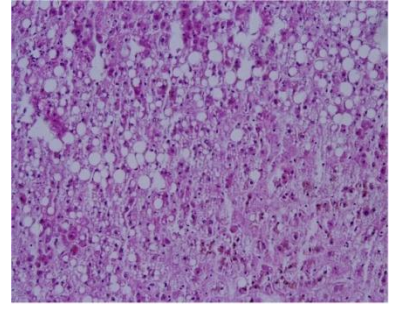
Human Tonsil
Immuno-Stain



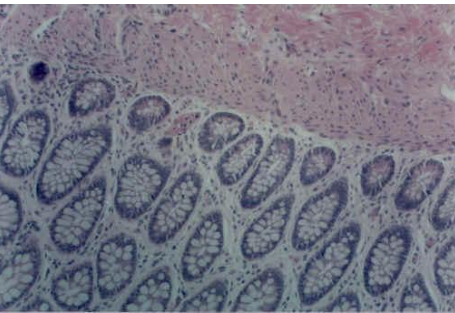
Human Lymph Node
H&E



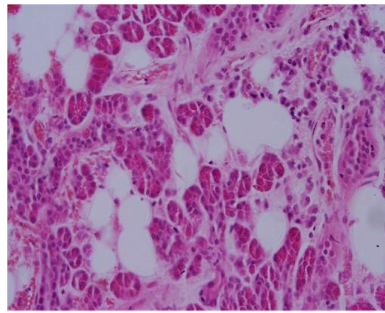
Human Skin
H&E



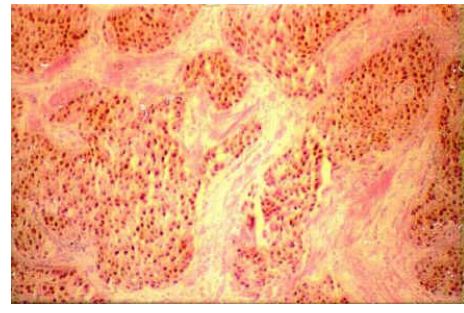
Human Liver (Fatty)
H&E



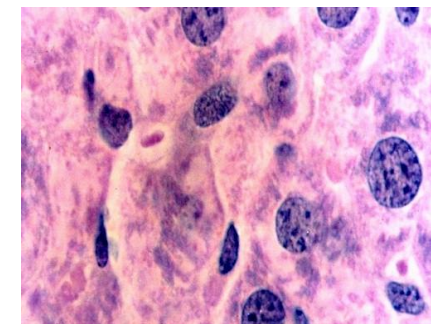
Human Gut
H&E



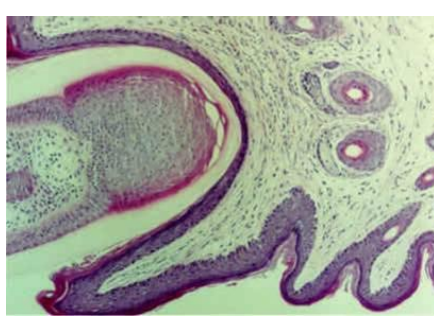
Human Cheek Tumor
(Parotid Gland)
H&E



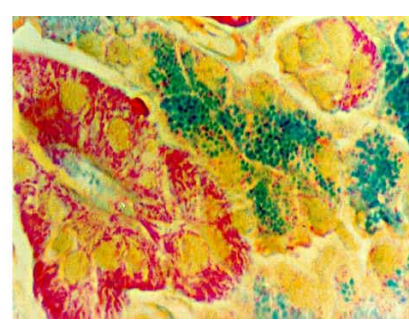
Human Breast
Estrogen Receptor
Immuno-Stain



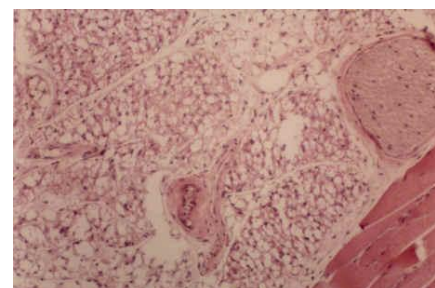
Rat Liver
H&E



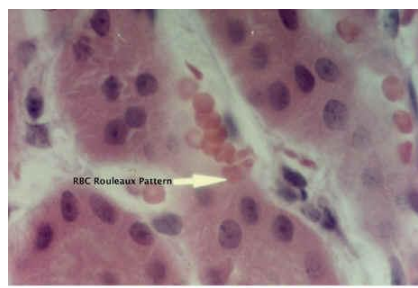
Mouse Skin
H&E



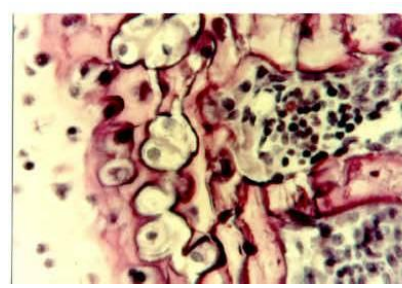
Rat Salivary Gland
Triple Stain



Rat Brown Fat
Nerve Ganglion & Skeletal Muscle
H&E



Rat Kidney
H&E
RBC Preserved by Freeze-Substitution
Fixation Glut./DMF



Mouse Cheek Bone
H&E
(Undecalcified)